

# 電動乗り物導入実験 中心街で来年度にも

## 旭川市、16日までアンケート

旭川市は来年度にも市内中心部で、電動キックボードなどの電動モビリティ(乗り物)を使った社会実験の実施を検討している。中心市街地を活性化させる目的で、アンケートなどに

寄せられた市民の声を取り入れる。実現すれば、市中心部の路上で社会実験を行うのは、約20年ぶり3回目となる。

今津寛介市長は旭川平和通買物公園で、電動キック



市内中心部の活性化に向け社会実験が検討されている電動キックボード  
(諸橋弘平撮影)

ボードを活用した社会実験の実施を選挙公約に挙げていた。6月に行われた買物公園50周年の式典では、自らも乗ってアピールした。

今月3日には、JR旭川駅前広場に特設コースを設け、立ち乗り電動二輪車「セグウェイ」や電動キックボードの体験会を開催し、91人が試乗した。参加者からは「簡単に乗ることができた」「新しい時代を感じた」などの意見があった。

社会実験に向け、市は7月に東京都立川市を視察。電動キックボードの運転時に、ヘルメットの着用を任意にする特例措置を設けるなど、国の実証実験が行われており、サービスを提供している事業者に聞き取りした。

また、市は16日まで、専用サイトで中心市街地活性化に向けたアンケートも実施。電動キックボードを含む乗り物を買物公園に導入する是非などを質問している。市は、アンケート結果を年内にまとめる見込み。

市中心部では1969年と2005年に社会実験が行われた。69年は平和通から車両を閉め出して買物公園の開設に道筋を付け、05年は買物公園で住民参加型のイベントなどを試みた。

電動モビリティを使った社会実験が買物公園で行われることになれば、歩行者の安全を守るため、専用コースの設置などを検討することが求められる。

(佐藤愛未)